

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	141	事業名	災害公営住宅給配水管整備事業（平薄磯地区）	事業番号	◆D-4-4-2
交付団体	いわき市		事業実施主体（直接/間接）	いわき市（直接）	
総交付対象事業費	7,035（千円）		全体事業費	7,035（千円）	
事業概要					
<p>東日本大震災により住宅を失い個人で住宅を再建することが困難な被災者に対し安定した生活を確保してもらうために整備する災害公営住宅整備事業に併せ、団地敷地への給配水管整備に係る費用を負担するもの。</p> <p>【事業概要】</p> <p>配水管口径：250 mm 給水管分岐口径：150 mm 延長：400m (事業間流用による経費の変更)</p> <p>平成 27 年度災害時要援護者マップの作成費の増額。◆D-20-2-2 災害時要援護者支援マップ作成事業へ、事業費 396 千円（国費 316 千円）を流用。これにより交付対象事業費は 7,035 千円（国費 5,628 千円）から 6,639 千円（5,312 千円）に減額。</p> <p>※ 当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>『市復興事業計画』</p> <p>取組名：取組の柱 1 被災者の生活再建 住宅に係る支援 災害公営住宅の整備 取組内容：東日本大震災により住宅を失い個人で住宅を再建することが困難な被災者に対し安定した生活を確保してもらうために低廉な家賃で入居できる災害公営住宅を整備し生活再建を支援する。</p>					
当面の事業概要					
<平成 25 年度> 水道整備負担金の納入					
東日本大震災の被害との関係					
本市は、東日本大震災により壊滅的な被害を受け、9 月 24 日時点で約 8,000 棟近い建物が全壊となっている。このため、住宅を失い個人で住宅を再建することが困難な被災者に対し安定した生活を確保してもらうために当該平薄磯地区においても災害公営住宅を 100 戸整備するにあたり、給配水管を整備する。					
関連する災害復旧事業の概要					
無し					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-4-4
事業名	災害公営住宅整備事業（平薄磯地区）
交付団体	いわき市
基幹事業との関連性	
災害公営住宅の整備にあたり、給配水管を整備することにより安定した水道を提供する。	